

ユニパスさんへの支援を考える

高橋 亨輔



ユニパスバンク

目的 1

ユニパスさんが自分の道をワクワクしながら進める

「やってみたくなるかも」と興味をもつ

「できるかも」とチャレンジする

「一緒にいたいかも」と思える仲間をつくる

「自分でやりたいかも」と自分でする

目的 2

ユニパスという概念と理解を社会に広め、活躍する場を増やす

家族の理解が進み、
家庭が安心して過ごせる居場所になる

学校を含む社会の理解が進み、
差別が減少する

ユニパスさんを受け入れる人や場が増えて、
孤立が予防される

ユニパスさんも活躍できる場や
仕事の在り方が増える

✓ ユニパスさんとその周囲の環境に向けた目的を設定し、それぞれの目的達成の指標として4つの目標を設定しました。 2

目的 1

ユニパスさんが自分の道をワクワクしながら進める

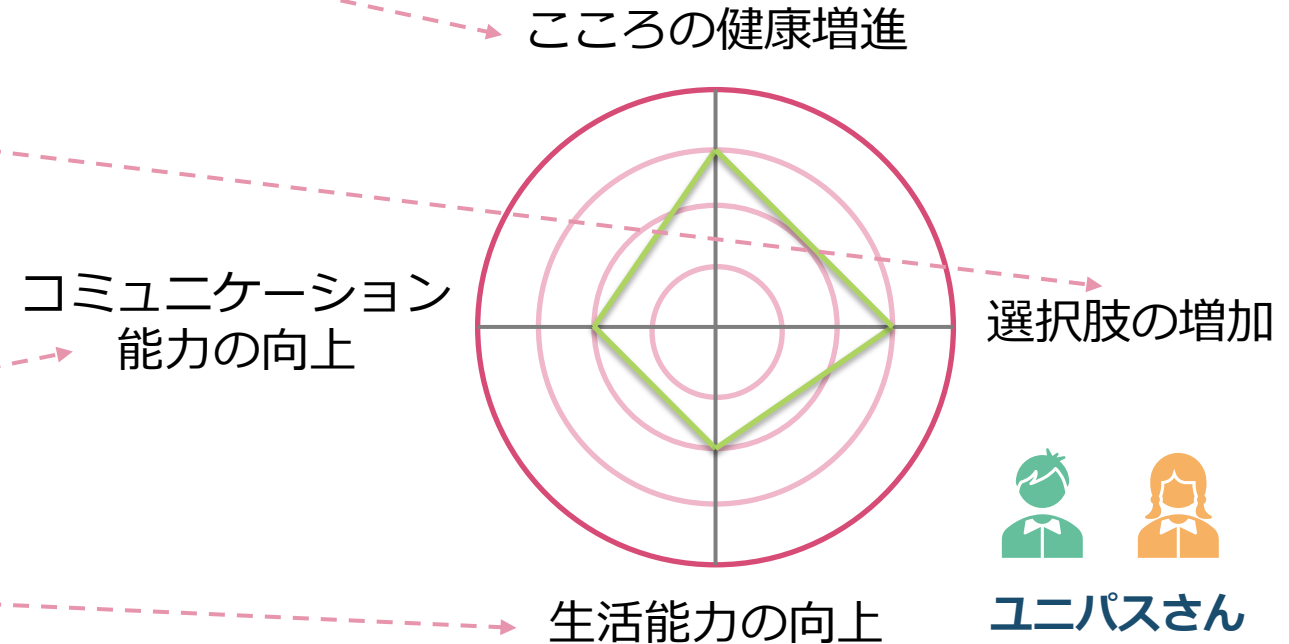
「やってみたくなるかも」と興味をもつ

「できるかも」とチャレンジする

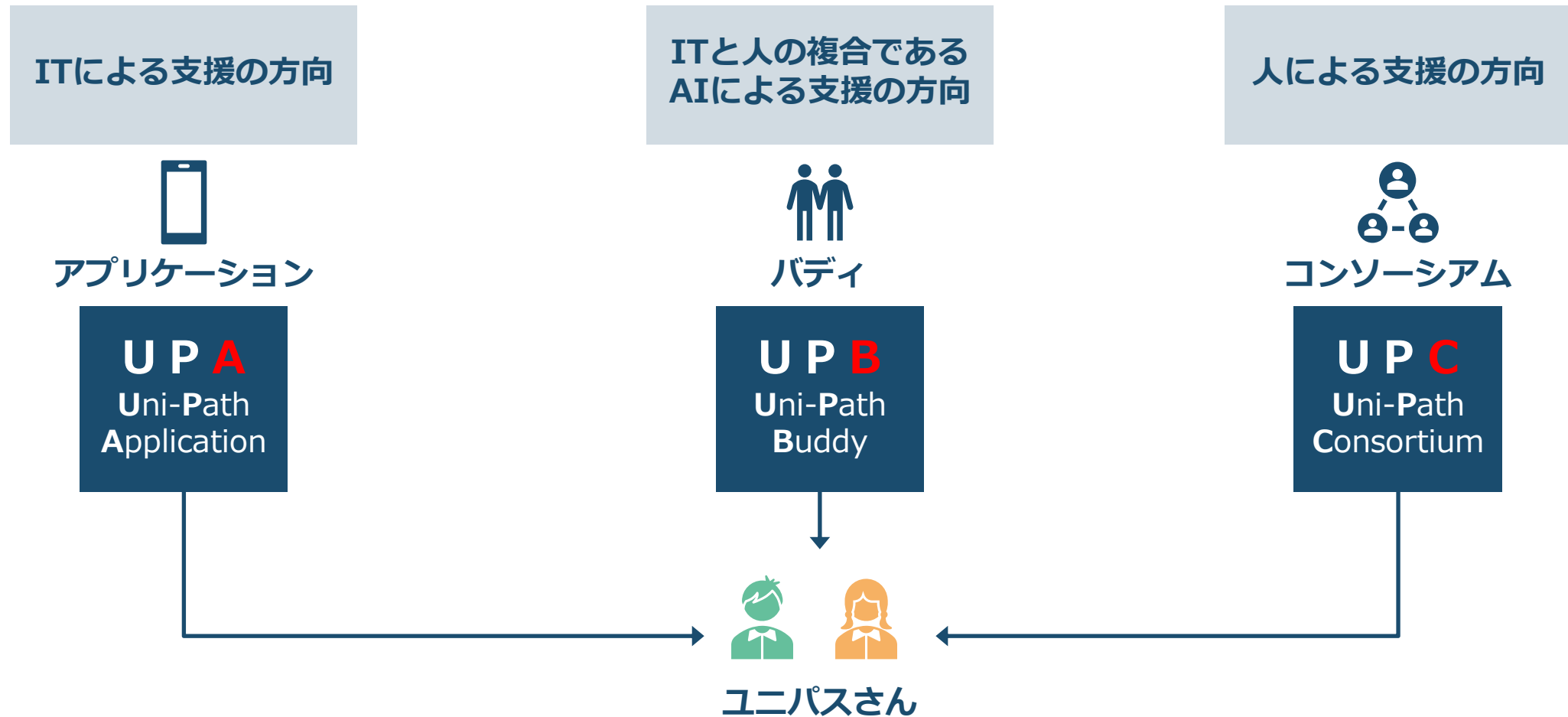
「一緒にいたいかも」と思える仲間をつくる

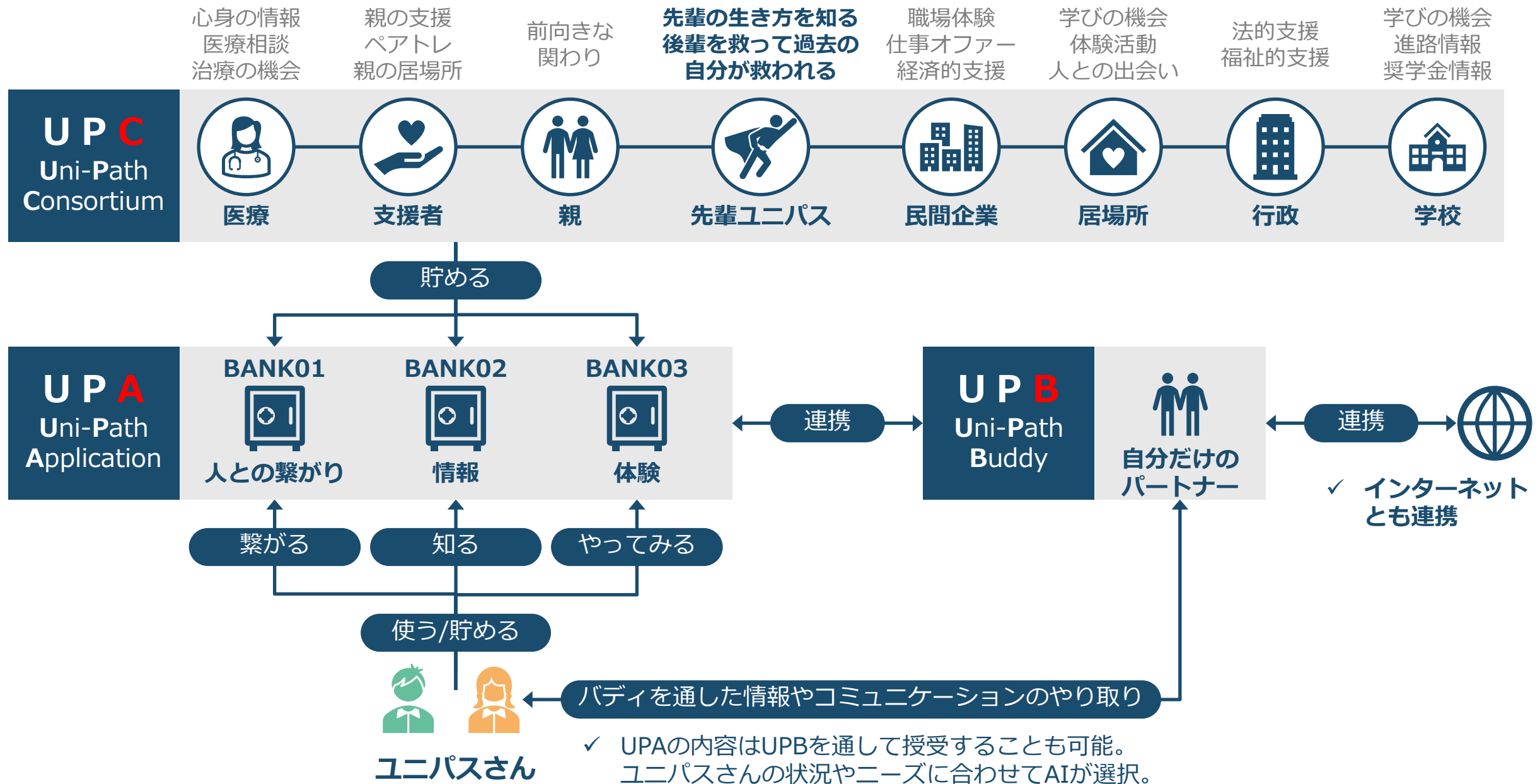
「自分でやりたいかも」と自分でする

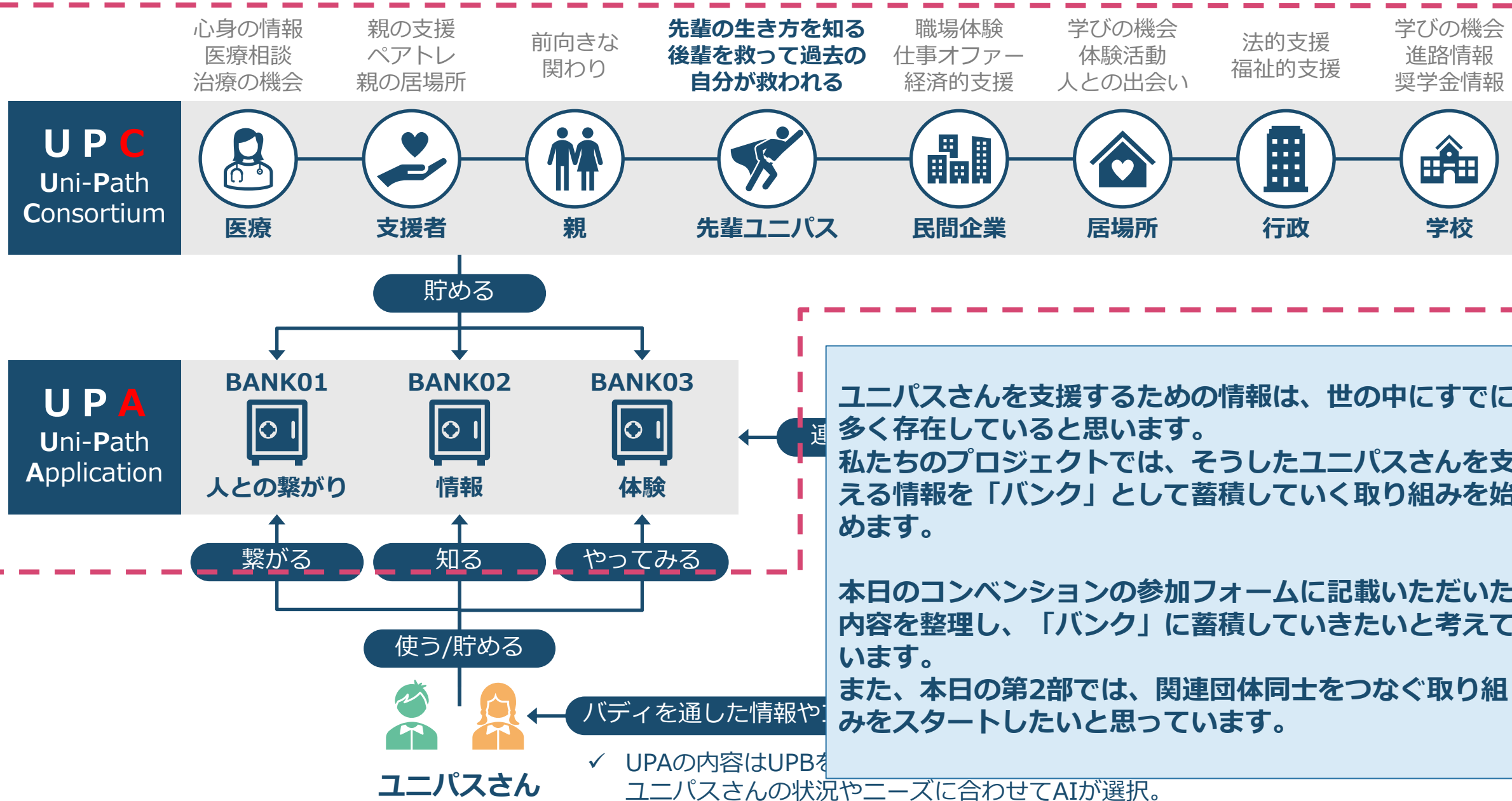
- ✓ ユニパスさんが自分の道を前向きに歩いていくプロセスを支えるため、行動として見える目標を設定しています。
- ✓ 4つの目標に対応して、ユニパスさんのチャレンジの成果を可視化・スコア化し、自分が今どの位置にいるのかを把握できるようにします。



- ✓ “A”、“B”、“C”、3つの方法で支援を実施します。
- ✓ “A”はアプリケーション ITを活用してスマートフォンのアプリケーションを構築し、情報や人との繋がりを支援します。
- ✓ “B”はバディ AIを活用して自分だけのバディを創ることにより、安心からスタートするコミュニケーションを支援します。
- ✓ “C”はコンソーシアム ITやAIだけでは実現し得ない人や組織との繋がりを支援します。



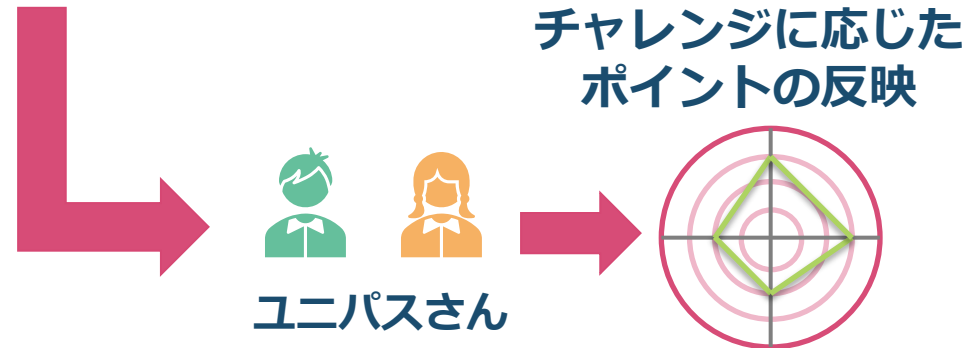




ユニパスさんを支援するための情報は、世の中にすでに多く存在していると思います。私たちのプロジェクトでは、そうしたユニパスさんを支える情報を「バンク」として蓄積していく取り組みを始めます。

本日のコンベンションの参加フォームに記載いただいた内容を整理し、「バンク」に蓄積していきたいと考えています。また、本日の第2部では、関連団体同士をつなぐ取り組みをスタートしたいと思っています。

関連団体・企業の イベントや体験の登録



- ✓ 先輩ユニパスの体験談
- ✓ 保護者向けの交流・イベント情報
- ✓ 関連団体や支援機関の情報
- ✓ 地域性のある支援・活動情報
- ✓ 学習支援や塾の情報
- ✓ 短期宿泊体験等の情報
- ✓ 職場体験や就労体験の情報
- ...

ユニパスアプリはユニパスさんと家族、支援者や関連団体をつなぎ、人や体験と出会うきっかけをつくれます。

たとえば、先輩ユニパスさんにつながり、実際の体験談を聞くことができます。身近な立場の人の話を通じて、「自分にもできるかも」という気持ちが芽生えます。

親同士がつながることもできます。保護者同士だからこそ話やすく、「そのイベントよかったよ」「うちはこんな工夫をしているよ」といった実感のこもった情報交換が生まれます。

アプリを通して知った活動に一步踏み出し、体験してみる。その経験をアプリに登録すると、チャレンジの積み重ねがスコアとして見える形になります。



ユニパスさん

たとえば・・・
不登校の高校2年生

将来どうしよう？

大丈夫、今不登校でも将来はたくさんあります。
通信制高校や高卒認定など、学校以外の道もちゃんとあります。
今は無理に決めなくていい時期です。
よければ、今いちばん困っていることは何か教えてくれますか？

勉強がわからない

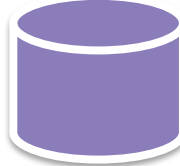
それはつらいよね。でも安心して。
勉強がわからない＝能力がない、ではありません。
多くの場合「つまづいた所が分からないまま進んだ」だけです。
どの教科・どの辺が一番わからないか、
少しだけ教えてもらっていい？

英語

ありがとう、教えてくれて。
英語が分からなくなるのは**本当に多い**し、やり直しは全然遅くありません。
英語は「中1レベル」から順に戻せば必ず理解できます。
まずは **be動詞と一般動詞の違い** から一緒にやってみようか？

UPB
Uni-Path
Buddy


自分だけの
パートナー




生成系AIの
カスタマイズ



ユニパスさんの現状

UPA
Uni-Path
Application

ユニパスバンクの情報

ユニパスバディは、ユニパスさんを理解しながら対話を重ねる
伴走パートナーです。

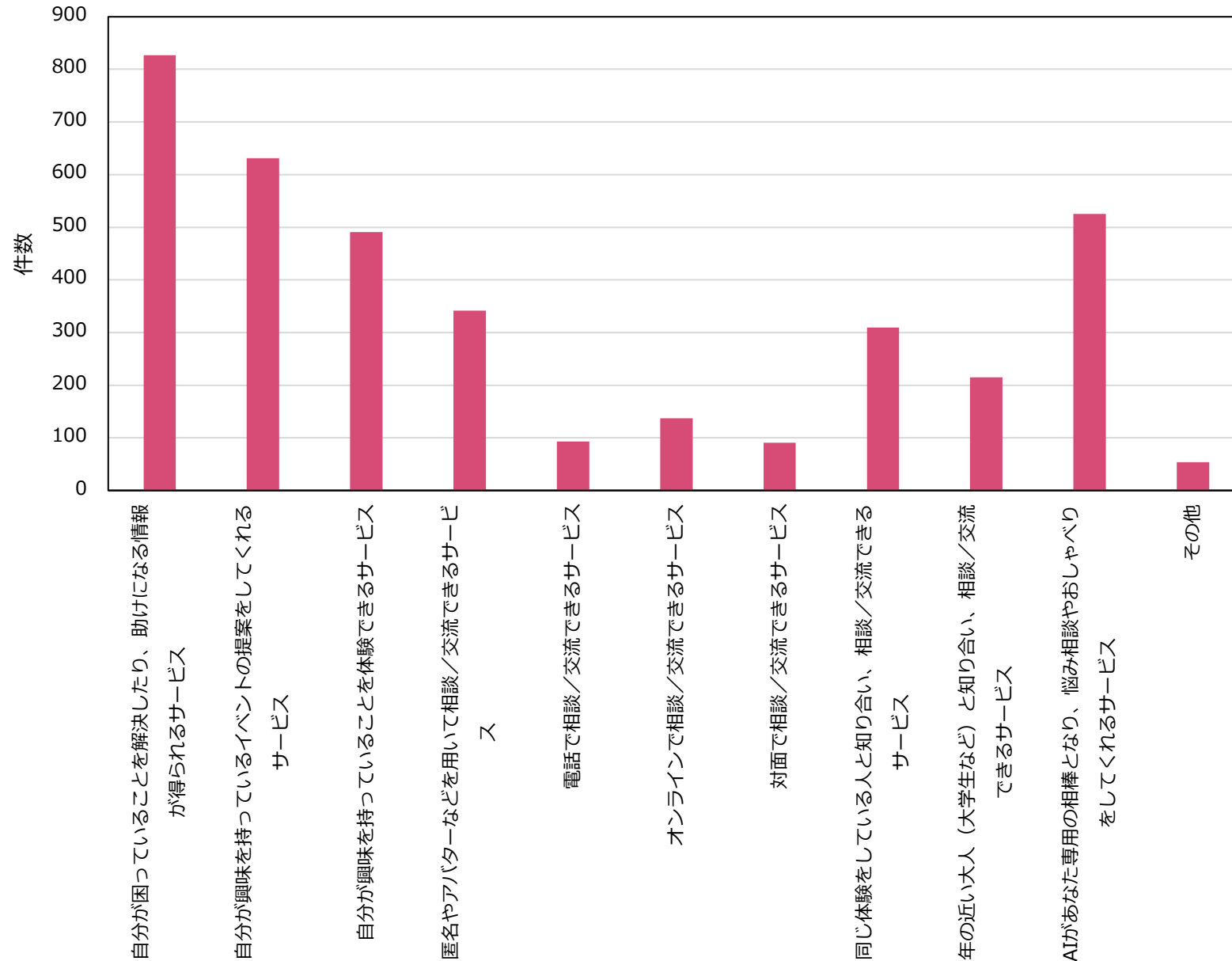
ユニパスさんのプロフィールや体験、好みの蓄積をもとに、一
人ひとりに合わせた声かけを行います。

たとえば、人とのコミュニケーションに不安を感じたときには
「こんなとき、なんて言えばいい？」「この言い方で相手を傷
つけないかな？」といったやり取りを練習することができます。

ユニパスバディとの対話と現実での体験を行き来しながら、ユ
ニパスさんが前に進んでいく伴走の仕組みを目指しています。

Q12. あなたが、あれば使ってみたいと思う支援やサービスをすべて選んでください。

n=1727（複数回答可）



選択肢	件数
自分が困っていることを解決したり、助けになる情報が得られるサービス	827
自分が興味を持っているイベントの提案をしてくれるサービス	631
自分が興味を持っていることを体験できるサービス	491
匿名やアバターなどを用いて相談／交流できるサービス	342
電話で相談／交流できるサービス	93
オンラインで相談／交流できるサービス	137
対面で相談／交流できるサービス	91
同じ体験をしている人と知り合い、相談／交流できるサービス	310
年の近い大人（大学生など）と知り合い、相談／交流できるサービス	215
AIがあなた専用の相棒となり、悩み相談やおしゃべりをしてくれるサービス	525
その他	54

- ✓ 情報提供に対するニーズが多い
- ✓ AIと相談するサービスのニーズもある
- ✓ 「オンラインで交流」や「まわりの大人知り合いと相談」よりも「AIに相談」が多い
- ✓ 「その他」は「特になし」の意見が多い